

令和4年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

栄小	学校
----	----

児童数	28
-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	19.44	19.31	32.06	40.06	47.25	9.39	141.69	24.38	53.50
大阪市	16.11	18.44	33.14	38.26	42.95	9.59	148.22	20.07	50.83
全国	16.21	18.86	33.97	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
女子	18.27	17.55	34.82	27.30	28.20	10.83	127.73	13.00	49.22
大阪市	16.01	17.55	38.00	36.50	34.13	9.76	140.76	12.77	52.65
全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31

結果の概要

男子は、握力、上体起こし、20メートルシャトルラン、50m走、ソフトボール投げが大阪市平均、全国平均を上回っていた。一方、長座体前屈、立ち幅とびは、大阪市平均と全国平均を下回っていた。体力合計点は、大阪市平均を2.67ポイント上回り、全国平均を1.22ポイント上回った。反復横跳びは、大阪市平均を上回ったが、全国平均は下回った。女子は、握力と上体起こし、ソフトボール投げ以外は、大阪市平均も、全国平均も下回った。体力合計点は、大阪市平均を3.43ポイント下回り、全国平均を5.09ポイント下回った。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答状況については、男子は、肯定的な意見が87.6%で、大阪市平均を1.1ポイント下回り、全国平均を1ポイント下回った。女子は、肯定的な意見が75%で、大阪市平均を8.4ポイント下回り、全国平均を10.9ポイント下回った。

1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合については、男子は、6%で、女子は、25%だった。1週間の平均では、男子が115分、大阪市平均を25分、全国平均を36分上回った。女子は、70分で、大阪市平均を17分、全国平均を21分上回った。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

かけあし月間や大なわ大会などの取り組みを実施し、体力向上に効果的であったのに加え、今年度は学校全体では運動場で遊ぶ児童が増えている。「運動やスポーツをすることが好きですか」の回答状況を見ても、好意的な意見が7割をこえている。「運動は大切か」の質問でも、男女とも、7割以上の児童が大切と答えていることから、運動することに対しては肯定的な児童が多い。また、「体育の授業は楽しい」と肯定的にとらえる児童も男女とも8割をこえている。しかし一方で、学校全体で見ると、高学年が運動場で遊ぶ姿が少ないとの意見もあり、今後も運動の楽しさを児童に伝えていくための工夫や意欲づけが必要である。児童の意欲を引き出す工夫としては、「がんばりカード」を活用して、児童のがんばりを可視化し、できたことが児童にとってわかりやすいようにしたり、体育の時間において、遊び要素を多く取り入れ、興味を持って取り組む運動をしたりすることで、運動に否定的な児童の底上げを図っていく必要がある。また、休み時間や集会等で運動を取り入れた遊びを児童に紹介して、児童自らが遊びを工夫して運動できるような取り組みを行うことも必要である。